わが家、わが町を守るための

垂井町 牧田川 洪水ハザードマップ

垂井町府中地内　平成 20 年 9 月 2 日
（ゲリラ豪雨による梅谷川氾濫）

垂井町栗原地内　平成 25 年 9 月 15 日
（台風 18 号）

このマップは、垂井町内を流れる主要河川、および牧田川が大雨によって増水し、堤防が決壊した場合の浸水予想結果に基づいて、住民のみなさんの避難に役立つように、浸水の範囲とその深さ、ならびに避難場所などを示したものです。
洪水が発生するおそれがあるときは、役場から避難情報が出されますので、このマップを持ってすみやかに避難してください。また、大雨の時には、雨の降り方や家のまわりの浸水状況に注意し、危険を感じたら早めの避難を心がけましょう。

※いざというときに備えて、あなたの家から避難場所までの安全な経路や、家族の連絡先などを書き込んで、見やすい場所に保管しましょう。

垂井町　令和 4 年 3 月改訂

垂井町の防災に関する情報が入手できる QR コードです。

避難のフローチャート

洪水発生時に自宅やその周辺がどのような状況になるか、裏面の洪水ハザードマップで確認し、避難の方法を考えてみましょう。

- 自宅が『浸水想定区域』※内にある
  - NO → ハザードマップで示されていない区域での浸水も起こり得るため、情報収集は必要！ ▽共通編の「情報・連絡について」を参照してください
  - YES ↓ ※裏面の洪水ハザードマップにおいて、洪水時に浸水が想定される区域
- 自宅が『家屋倒壊等氾濫想定区域』内にある
  - YES → 『河岸浸食』のおそれがある区域内にある
  - YES → 『氾濫流』のおそれがある区域内にある
  - NO → 自宅が木造である
  - YES → 自宅の最上階まで浸水する
  - NO → ○安全に避難場所へ避難できるか？ ○自宅周辺の浸水深や継続時間は？ ○自宅の状態は？　等の状況に応じて自宅待機
  - YES → 警戒レベル3以上の場合 早期に安全な場所に避難！ 警戒レベル 3
  - 避難場所 / 自宅以外の安全な場所

浸水深の目安

早期避難が必要な区域

●家屋倒壊等氾濫想定区域

氾濫流
氾濫した洪水の流れが速く、木造家屋が倒壊するおそれのある区域

堤防決壊により家屋が流出した状況

河岸浸食
洪水の際に河岸が削り取られて、家屋が倒壊するおそれのある区域

浸食により家屋が流出した状況

●家屋が水没するおそれのある区域
最上階まで浸水する建物は早期の避難が必要です。
（目安として、浸水深 3.0m で 2 階が床下浸水します。）

これらの区域では早期の立退き避難が必要です!!

逃げ遅れたらどうする？

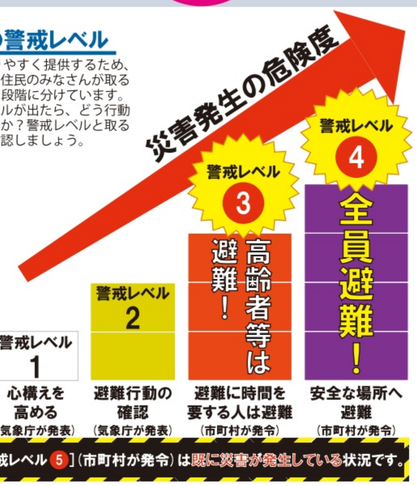
●自宅や 自宅近隣の頑丈な建物の2階以上へ移動し、救助を待ちましょう。
（垂直避難）
●山側の部屋にいるのであれば、山から離れた部屋へ移動しましょう。
（水平避難）

自分の命は自分で守る

避難を考えよう！

5段階の警戒レベル

情報を分かりやすく提供するため、警戒レベルと住民のみなさんが取るべき行動を 5 段階に分けています。どの警戒レベルが出たら、どう行動すればいいのか？警戒レベルと取るべき行動を確認しましょう。



警戒レベル1で取るべき行動

●災害への心構えを高めましょう。
気象庁から発表される早期注意情報(警戒級の可能性)は以下から確認できます。
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/keika/
※パソコン・スマートフォン共通
QRコード スマホ

警戒レベル2で取るべき行動

●このハザードマップを活用して、 避難行動を確認しましょう。
▽「避難のフローチャート」を参照してください。

警戒レベル3で取るべき行動 警戒レベル 3 高齢者等は早めの避難 その他の方も早期に自主避難

高齢者等避難
●避難に時間の要する人（高齢者、障がいのある方、乳幼児等）とその支援者は避難をしましょう。
●その他の人は、避難の準備を整えましょう。
泥川周辺：水位7.10m（氾濫警戒情報発令）
山間部：大雨警報（土砂災害）発令

警戒レベル4で取るべき行動 警戒レベル 4 全員避難！！

避難指示
●すみやかに避難場所へ避難しましょう。
●公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
泥川周辺：水位7.60m（氾濫危険情報発令）
山間部：土砂災害警戒情報発令

警戒レベル5で取るべき行動 警戒レベル 5 安全確保！！

緊急安全確保
●すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。
●警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません！

避難時の心得

●安全な服装で避難しましょう
動きやすい運動靴を履いて、動きやすい服装で避難しましょう。

●近所（高齢者等）の人に声をかけましょう

高齢者や体の不自由な方は不安がいっぱいです。お互いに助け合って安全に避難しましょう。

●崖の近くは避けましょう

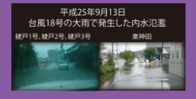
崖の近くや増水した川にかかる橋などは渡らないようにしましょう。

●水面の下は危険な所が隠れています

やむを得ず冠水した所を歩くときは、長い棒を杖がわりにして、安全を確認しながら歩きましょう。大人が歩ける水の深さは、約５０cmです。

●車での避難は危険です
自動車が水に浸かると動かなくなったり、水圧で扉が開かなくなったりして大変危険です。自動車での避難は特別の場合を除きやめましょう。

このマップは、垂井町に洪水被害を及ぼす可能性のある牧田川が、想定される最大規模の大雨の影響で氾濫した場合の「浸水区域」「浸水深」「早期の立退き避難が必要な区域」等を示したものです。
※このマップに表示されていない地域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。
※想定を超える降雨、内水による氾濫は考慮していません。
ただし、内水による氾濫を警戒すべき箇所を以下に示します。
●垂井地区：駅前、駅新、東２の１、東神田　●東地区：綾戸１号、綾戸２号、綾戸３号

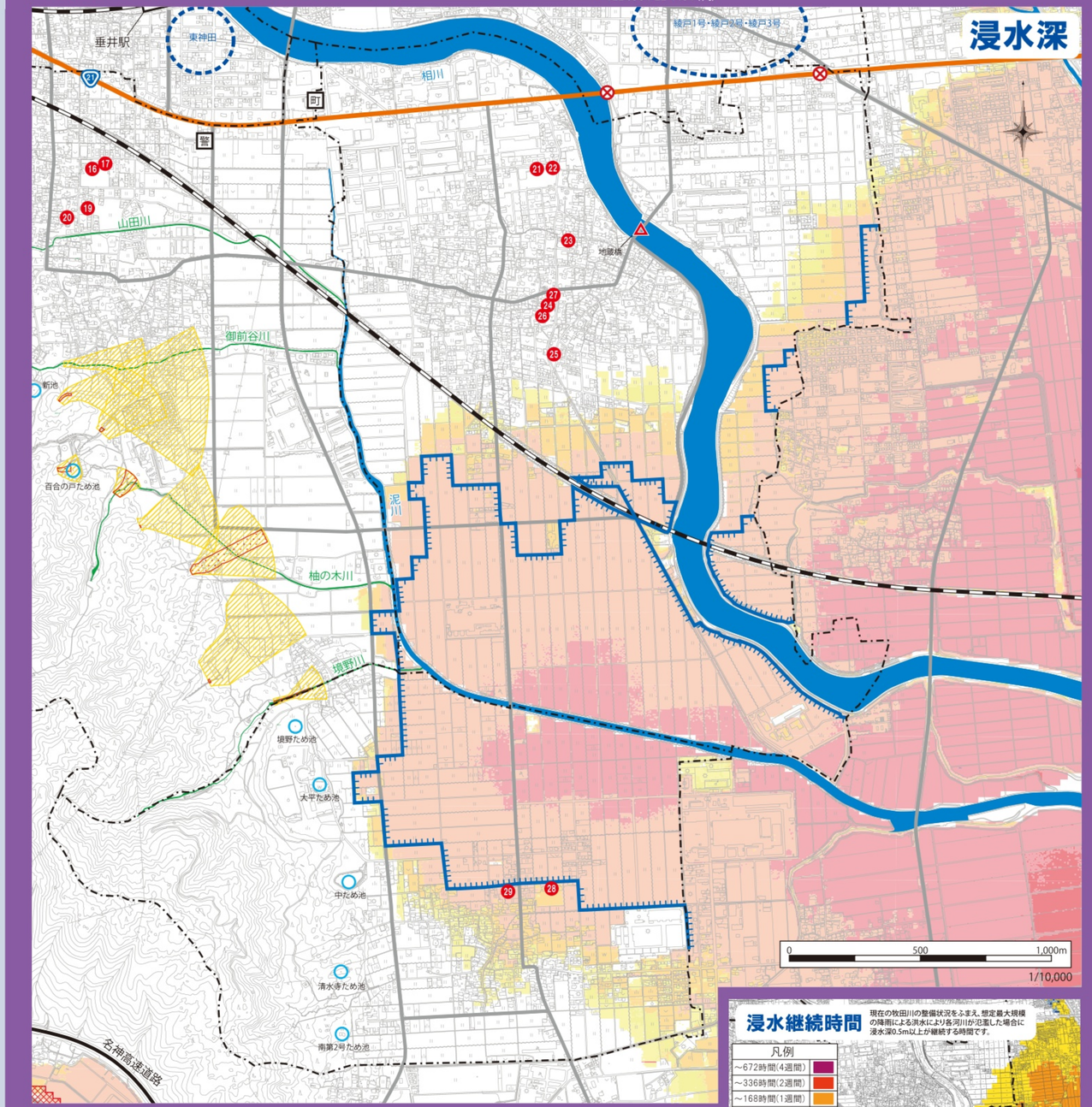


想定最大規模版

現在の牧田川の整備状況をふまえ、当該流域における過去の降雨量から想定される最大規模（1,000 年間に1 回程度発生）の降雨に対する浸水想定です。

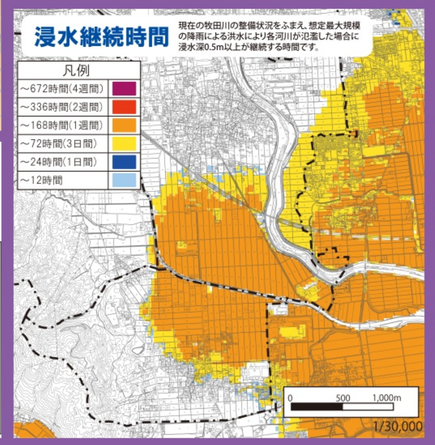
牧田川
想定される最大規模の大雨は以下の通りです。
牧田川：揖斐川流域の2日間総雨量667mm

＜お問い合わせ先＞
垂井町役場　建設課
〒503-2193　岐阜県不破郡垂井町宮代2957-11
TEL 0584-22-1151（代）



浸水継続時間

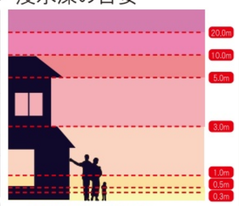
現在の牧田川の整備状況をふまえ、想定最大規模の降雨による洪水により各河川が氾濫した場合に浸水深0.5m以上が継続する時間です。



洪水ハザードマップの見方（凡例）

洪水時の想定浸水深 ➡ 浸水深の目安

20.0m 以上の区域	
10.0m ～ 20.0m の区域	
5.0m ～ 10.0m の区域	
3.0m ～ 5.0m の区域	
1.0m ～ 3.0m の区域	
0.5m ～ 1.0m の区域	
0.3m ～ 0.5m の区域	
0.3m 未満の区域	
氾 濫 を 想 定 した 河 川	
家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）	
家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）	



「早期の立退き避難」に備える必要があります。

凡例（土砂災害）

土砂災害特別警戒区域		土砂災害警戒区域	
土石流		土石流	
急傾斜地の崩壊		急傾斜地の崩壊	

凡例（避難場所等）

- 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 福祉避難所
- 垂井警察署
- 東消防署
- 垂井町役場
- 谷雨量観測所（国交省）
- 水位観測所
- 地下道（アンダーパス）
- 鉄道
- 高速道路
- 国道
- 主な道路
- 市町村境界
- ため池
- 主な普通河川
- 過去の浸水区域
- 内水警戒箇所

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用（承認番号　令元情使、　第566号）